



内閣官房内閣人事局参事官補佐(人事評価担当)

次田 亜美 TSUGITA Ami

平成 21年 4月 総務省採用
同 行政管理局行政情報システム企画課
平成 22年 7月 同 行政管理局管理官付
平成 24年 1月 内閣官房行政改革推進室室員
7月 総務省情報通信国際戦略局国際経済課多国間経済室WTO・EPA係長
平成 26年 7月 同 行政管理局企画調整課調査研究係長
平成 28年 7月 同 行政評価局行政相談課上席評価監視調査官
平成 29年 7月 個人情報保護委員会事務局総務課課長補佐(情報システム総括担当)
平成 30年 4月 内閣官房内閣人事局参事官補佐(服務・勤務時間担当)
令和 2年 7月 現職

目指すのは働きがいのある組織づくり

今の仕事、国家公務員の人事評価制度

国家公務員にも日々取り組んだ業務の成果やその成果を出すにあたって発揮した能力を評価する人事評価制度の仕組みがあり、私は今、その制度を担当しています。人事評価は職員一人一人の成長や育成に活かしたり、給与や人事異動に反映させたりする上での基礎となるもので、人事評価の最終的な目的は、職員一人一人の生産性や成果が高まるよう成長を促し、職員一人一人の能力を踏まえて適切な人事配置を行い、組織全体のパフォーマンスを上げ、行政サービスを向上させることにあります。国家公務員といってもその仕事は多岐にわたり、売り上げといったわかりやすい成果がない中でどのように評価をすればよいのか、また、日々業務に追われ、部下も上司も自分の業務を振り返ったり、きちんと評価したりする余裕がないという現実もある中で、制度が上手く機能するための仕組みづくりを議論しながら、考える日々です。

組織・業務・人の改革で働きがいのある組織に

総務省では、これまで各省庁の組織や業務を効率的に質の高いものに改革していくという観点での業務を経験してきましたが、内閣人事局は、国家公務員一人一人が働くにあたり、何に困難を感じ、問題を抱えているのかを考え、各省庁が運用する人事制度を改革することで解決していく仕事をしていくところだと思っています。どちらも公務全体として今、何が起きているのか、何が必要なのかをとらえて、組織や業務の改革、人事制度の改革を推進していくことで、国家公務員のみなさんが働きがいのある仕事にきちんと取り組める環境づくりをしていく、それは私にとってとてもやりがいのある仕事だと感じ、取り組んでいます。

何を目標として仕事をする？

入省して以来、様々な仕事を経験し、色々な人の考えに触れ、議論してきたことで、最初は漠然としていたやりたいことが、公務全体の「働きがいのある組織づくり」を目指して仕事をしていきたいと思うようになりました。皆さんも今はやりたいことが漠然としているかもしれませんが、色々な経験ができる総務省で自分

なりのやりたいことを探してみませんか。



夏休みか冬休みは旅に出ます

デジタル社会形成に向けて

世界は今、大きな岐路に立たされています。新型コロナウイルスの感染拡大は、これまでの価値観を大きく揺さぶり、「新常态」と言われる、従来の「当たり前」が通用しない時代に我々は突入しています。そんな中、多くの分野を横串で捉えるものとして「デジタル」がクローズアップされ、官民挙げてデジタル社会の形成に取り組んでいます。

私は現在、三重県における行政デジタル化の責任者を務めています。今後の人口減少社会を見据え、県庁が持続的に行政サービスを提供できるようにするための組織的課題の解決のみならず、住民本位の行政をどう実現するのかというDX(デジタルトランスフォーメーション)の実現に向け、挑戦の毎日です。

デジタルを活用した地方の可能性

デジタルの力をうまく活用すれば、地方にはさらなる可能性が生まれます。オンライン教育やテレワークの環境を充実させつつ、人々が安心して子育てや介護が出来るように子育て支

援、医療、介護の体制を整え、地域のストックを生かした地域循環経済を構築することにより、「誰もが住みたい地域に住み続けられる社会」が実現できると考えています。

このような新しい社会づくりは、行政だけでは実現できず、かといって民間だけでも実現できません。「官民連携」や「官民共創」というワードをよく聞くようになりましたが、あらゆる関係者が協力的、多種多様なニーズに応えるために、「コーディネーター」としての行政の役割が期待されており、一人ひとりの行政官もその力量が問われています。

成長する環境

総務省におけるキャリアパスは、成長するフィールドで溢れています。最先端の行政課題に対し、大きな裁量を与えられて仕事ができ、地方への出向時には、役職に負けないように組織内の信頼を得て結果を出すという全人格での勝負をすることとなります。入省して10年目になりますが、海外留学も含めて本当に様々な、濃密な経験をしてきたと思います。何が正解か分からない時代です。未知の課題

に果敢に挑み、共に成長していきたいと願う人材をお待ちしています。



パリのオペラ座にて



三重県の同僚との旅行

地方から発信するデジタル社会

三重県総務部
スマート改革推進課長

横山 啓 YOKOYAMA Kei

平成 23年 4月 総務省採用
同 自治行政局地域自立応援課
8月 岡山県県民生活部市町村課
平成 24年 8月 総務省行政管理局行政情報システム企画課
政府共通システム基盤センター
平成 26年 4月 同 自治行政局住民制度課
平成 27年 7月 同 自治行政局住民制度課主査
平成 27年 8月 同 自治税務局都道府県税課主査
平成 28年 7月 留学(仏国/パリ政治学院)
平成 30年 7月 三重県地域連携部市町行政課課長
令和 2年 4月 現職